

を寄せた人の中に、大阪の井原西鶴、江戸の松尾桃青〔芭蕉〕がいた。西鶴は「一目玉鉾」に、想像を多分に支えた仙台と松島を書き、芭蕉をして「おくの細道」に松島の風光を嘆賞させる機縁となった。約100年の後、乙二等の出現によって仙台地方における蕉風が全盛期を迎えるのであるが、それまで仙台では三千風の作風が比較的永い間伝えられていた。

注(4) 俳人で、松窓乙二よりも2才年下であった。横井也有〔名古屋〕などとも親交があった。俳句の傾向は、奇警で俗臭があるので評価が一定していないが、門人千余人といわれ、仙台における大宗匠として勢力があった。また、俳人で俳画に巧みだったのは、仙台ではこの人だけであった。別号が多く、竹林舎・言外道・細道庵など知られているものだけでも20を越えている。仙台藩の大番士だったので、幼時から武士的の教育を受け、鈴鹿流長刀の達人となり、漢学の素養もまた深かった。寛政8年〔1796〕6月7日、広東省の中国船が本吉郡の大室浜に漂着したとき〔「星信珉（ほしのふたま）外交日記」に記事がある。〕藩命を受けてその応接の任に当たった。日人は同船の船体・器具等を描写し、それに記文を書き添えた。船主陳世徳がその漢文を読んで激賞した。如何に日人の漢学の造詣が深かったかを証明するものである。天保7年〔1836〕4月20日歿、79才。ちなみに、天保・弘化の頃、日人の偽筆に巧みだったので、世に日人と呼ばれたものに、大場日人・城戸日人の兩名がある。

注(5) ばくら。白石千手院第9代の修験。名は清馨。権大僧都法印。隣々舎と称す。松窓乙二の父。天明7年〔1789〕7月19日歿。後17年、門人停月庵鬼子〔片倉小十郎〕遺稿を集めて「麦羅念仏」とした。

資料 仙台市民図書館郷土資料目録

7. 仙台叢書について

問 仙台叢書は、仙台市役所が発行したものであると友人から聞きましたが、どうすれば入手できるのでしょうか。

答 「仙台叢書」は、市役所が発行したものでなくて、民間の仙台叢書刊行会が、大正11年11月から昭和13年2月にかけて刊行したものです。⁽¹⁾

この叢書は、仙台に関するあまたの古書のうちから、特に資料性が高く、しかも未刊で流布少ないものを、厳選して集成したものです。この叢書の完本は、本編12冊・別刊6冊・別集4冊・「芳野花樹懐紙」1帖・続刊7冊合計30冊です。この叢書の公刊は、仙台の郷土史研究を一大躍進させる

ことになったものです。しかし、戦後は古本として残存が少く稀少価値を生じ、揃い物の入手は久しく至難となっていました。昭和50年仙台宝文堂から復刻版が発行されたので、ようやく入手できるようになりました。

注(1) 郷土史研究家佐藤興二郎・阿刀田令造・小倉博・鈴木雨香・今泉篁洲等がリーダーとなって組織したもので、事務所を宮城県図書館内に置いた。仙台叢書の刊行資金としては、斎藤報恩会から、旧仙台藩史料編纂の名目で13,750円の学術補助を受けた。叢書の頒布は予約会員制度をとった。会員数は当初千名程だったが、完結時には7百余名に減ったという。

なお、これとは全く関係がないが、国分町の書店伊勢安の伊勢斎助が仙台叢書刊行会の名目で郷土資料を出版した事実がある。明治26年7月7日「仙台叢書封内風土記」5冊本を発行している。伊勢斎助は自ら仙台叢書居士と称し、郷土ものの出版、特に林子平・斎藤竹堂・支倉常長の伝記や著書の刊行に努める一方、市井の研究者としても知られ、佐久間洞巖の「奥羽観蹟聞老志」の補遺を著した。昭和19年3月19日、87才で歿、弓の町大安寺に葬る。墓碑には小西皆雲の画、自筆の梅の歌と中林梧竹書「仙台叢書居士」と刻んである。

資料 本食い蟲五拾年（常盤雄五郎）

8. 養賢堂版について

問 呉趨顔麗荘・朱翠峯・華安愚同輯「韻府一隅」文化甲戌繅刻養賢堂。この書の養賢堂とは、仙台藩の藩校のことでしょうか。また、この外に養賢堂版にはどのようなものがありますか。

答 この書を刊行した養賢堂とは、仙台藩の藩校養賢堂のことです。

仙台藩の第5代伊達吉村は、家臣の子弟教育のため、儒員高橋玉斎の建議を容れて、元文元年〔1736〕6月15日、北三番丁細横丁西南角に学問所を設立し、玉斎を主立〔おもだち〕として11月1日開校しました。これが藩校養賢堂の前身です。しかし、学問所は年を経るにつれ衰微してきたので、これを憂えた7代重村が、校地を北一番丁勾当台通〔戦後の宮城図書館跡〕に移し、校舎を新築して教育内容の刷新をはかったので、再び学問興隆の気運を見るに至りました。安永元年〔1772〕7月11日、学問所を養賢堂と称することになりました。安永9年〔1780〕6月21日、学頭職を置くこととし、田辺楽斎〔らくさい〕を初代学頭に任じ、大いに人材養成に努めました。文化7年〔1810〕10月28日、大槻平泉が学頭に任ぜられると、学制改革と校舎拡張とを断行し